

自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 24, No. 2 神奈川県立生命の星・地球博物館 Jun. 2018



マゲソクワガタ

Nicagus japonicas Nagel, 1928

体長: 約7 mm

神奈川県相模原市緑区

かるべ はるき
荻部 治紀 (学芸員)

変わった名前のクワガタで、ほとんどの方はその存在を知らないと思います。パッと見た感じは小さな茶色いコガネムシで、クワガタの象徴ともいえるオスのツノ（大あご）も見あらず、とてもその仲間には見えません。生息環境や出現時期がなかなか判明せず、長い間‘幻の虫’でしたが、1990年代に生態が解明されました。山間の河原の砂地に埋没した流木が発生源で、5月頃に出現すること、無風晴天の気温の高い日中に河原の砂地を低く飛び回ること、などがわ

かってから、探索が進みました。幼虫の形態も解明され、成虫の外見からコブスジコガネ科に位置づけられるなど、^{うよきよくせつ}紆余曲折があった分類的な位置づけも決着がつき、本種がクワガタムシの仲間であると結論されました。このことは近年の遺伝子解析からも支持されています。

神奈川県内では、比較的最近になって県北部の河川敷で記録されました。実際に飛んでいる姿は、一見ハエのようで、やはりクワガタっぽくないクワガタですね。